

東北地方 1 か月予報

(8月23日から9月22日までの天候見通し)

平成20年8月22日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方では1週目は気温が低いでしょう。

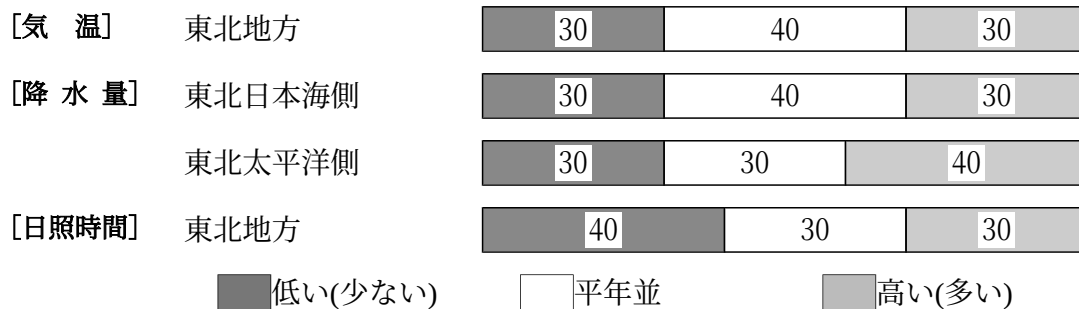
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

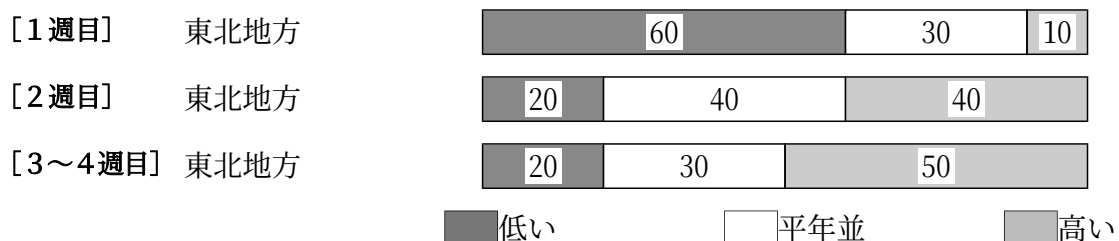
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は低い確率が60%、2週目は平年並または高い確率がともに40%、3～4週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月23日(土)～9月22日(月)
1週目 : 8月23日(土)～8月29日(金)
2週目 : 8月30日(土)～9月5日(金)
3～4週目 : 9月6日(土)～9月19日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月29日
3か月予報：8月25日(月) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(℃)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	20.3	137.5	169.9	22.2	21.4	19.4
深浦	20.5	183.6	165.9	22.4	21.5	19.6
むつ	19.3	185.0	144.4	21.0	20.2	18.5
八戸	19.9	187.3	149.4	21.6	20.8	19.1
秋田	21.5	200.1	170.4	23.7	22.6	20.5
盛岡	20.0	189.4	130.2	22.3	21.1	18.9
大船渡	20.6	243.7	127.4	22.4	21.6	19.8
宮古	19.9	237.0	131.6	21.7	20.8	19.0
仙台	21.7	221.7	127.2	23.5	22.7	20.8
石巻	21.3	169.3	143.9	23.0	22.2	20.4
山形	21.5	157.2	144.2	23.8	22.7	20.4
新庄	20.8	172.9	130.3	23.1	21.9	19.7
酒田	22.0	206.4	167.8	24.1	23.1	21.0
福島	22.4	175.9	125.2	24.5	23.5	21.3
若松	21.7	142.1	149.8	24.1	23.0	20.6
白河	20.7	250.4	123.7	22.7	21.8	19.7
小名浜	22.5	197.4	155.7	23.9	23.3	21.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.4	85～115	94～106
東北日本海側	-0.6～+0.6	85～109	94～107
東北太平洋側	-0.4～+0.3	82～119	90～108

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.7	-0.7～+0.7	-0.5～+0.5
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.8～+0.8	-0.5～+0.5
東北太平洋側	-0.5～+0.8	-0.7～+0.8	-0.5～+0.5

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 8 月 22 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（8 月 23 日～9 月 22 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。
なお、1 週目は気温が低いでしょう。

1 週目（8 月 23 日～8 月 29 日）：

気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。
平均気温は低い確率が 60% です。

2 週目（8 月 30 日～9 月 5 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
平均気温は平年並または高い確率がともに 40% です。

3～4 週目（9 月 6 日～9 月 19 日）：

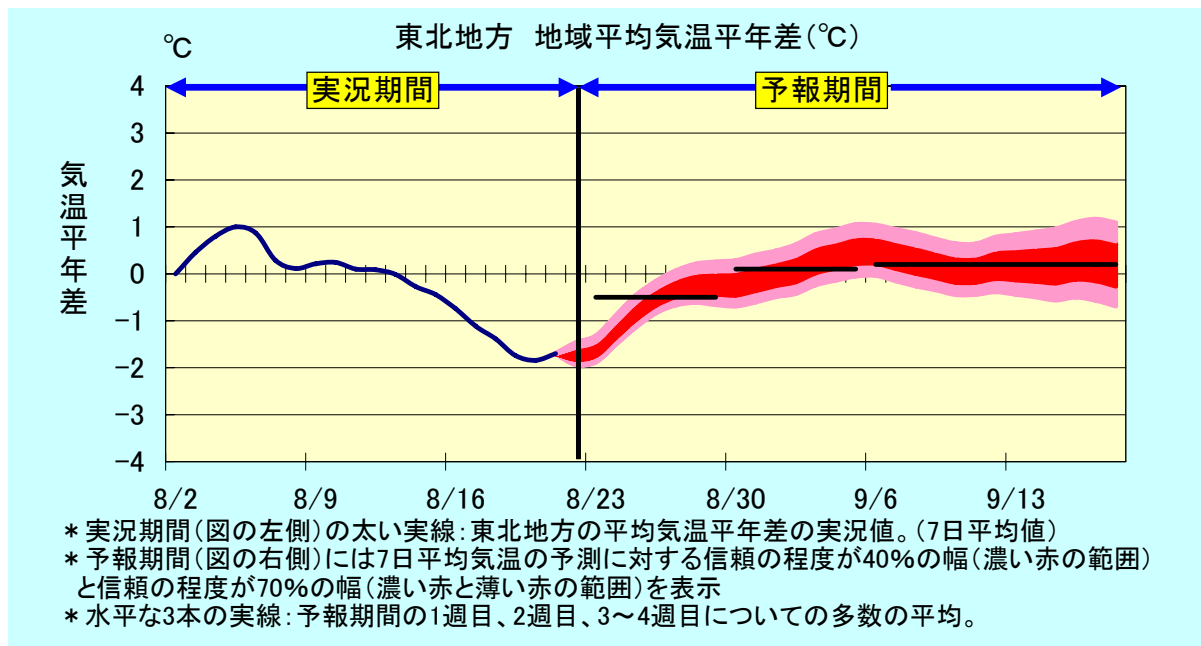
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
平均気温は高い確率が 50% です。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	14.1 日	3.9 日	3.8 日	6.4 日
東北太平洋側	12.2 日	3.5 日	3.2 日	5.5 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を下回り、2 週目、3～4 週目は平年付近の予想となっている。予報はその他の資料から 2 週目を平年並から高め、3～4 週目を高めに考える。

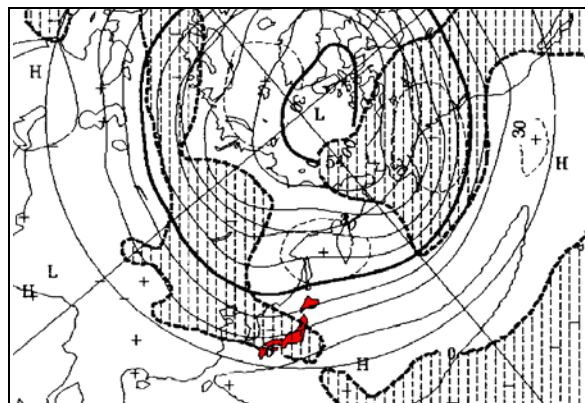


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

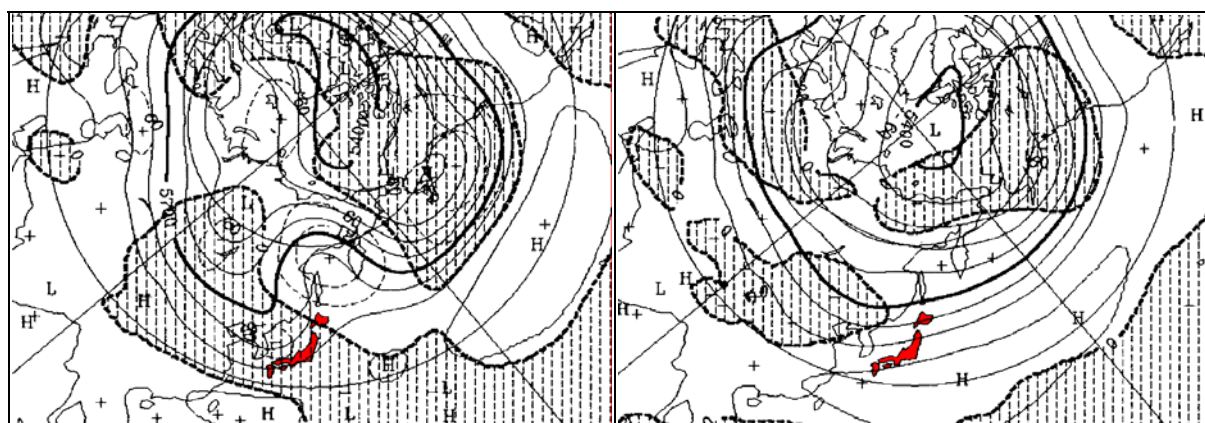
1か月平均: 日本の東海上や南海上は正偏差だが、本州付近は弱い負偏差におおわれる。偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変わる見込み。

1週目: オホーツク海付近にブロッキング高気圧が予想され、日本海は気圧の谷となって偏西風の蛇行が大きい。東北地方は曇りや雨の日が多く、また、寒気の影響を受け、期間のはじめを中心に気温が低い見込み。

2週目: 偏西風の蛇行の大きい状態は解消する予想。日本の南海上が正偏差となり、日本付近も正偏差におおわれる。東北地方の天気は数日の周期で変わり、気温は平年並か高い予想。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)

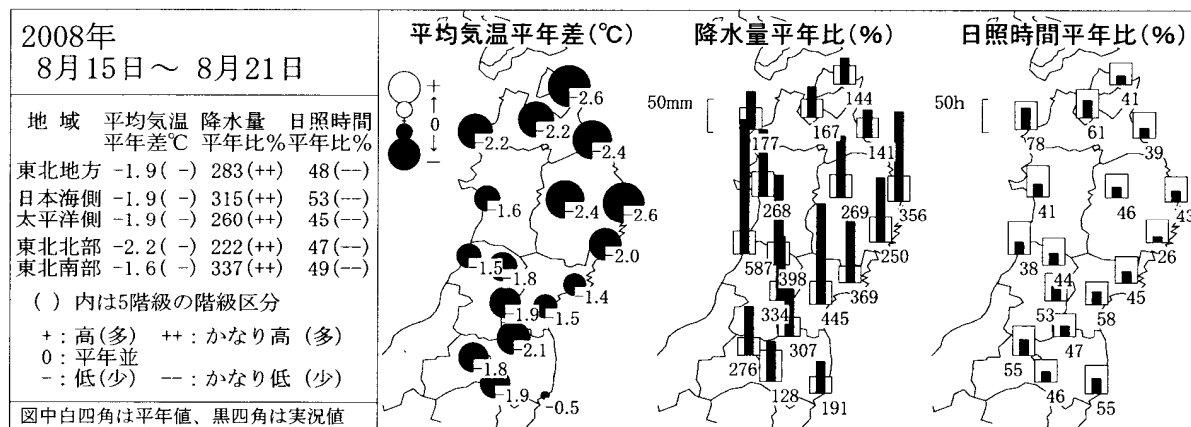


1週目平均 500hPa 予想天気図 2週目平均 500hPa 予想天気図
実線は、等高線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（8月15日～8月21日）の天候の経過

この期間、18日に高気圧におおわれて晴れた他は、低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多かった。大雨となったところもあり、秋田県、岩手県、山形県、福島県では浸水害や山がけ崩れ害などが発生した。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）